

第35期（令和6年度）の事業報告書
（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

1. 自転車に関する調査分析

毎年「調査分析テーマ」を決め、調査分析結果の発表会を館内で開催します。

今年度は、アシスト自転車誕生から30年を機にアシスト自転車の「誕生、技術の進化、市場、利用」についての調査分析を多面的、的確に進めるために、各専門別に5人の依頼先を選定し、それぞれの調査分析内容を史実として残していくことを予定しております。

今年度テーマ：「アシスト自転車誕生から現在まで」

調査分析依頼先：西岡正氏（立命館大学教授）*総合まとめ担当、山部洋幸氏（奈良県立大学准教授）、明田久稔氏（元ヤマハ発動機 PAS 担当技術者）、斧隆夫氏（元パナソニックサイクルテック専務取締役）、難波賢二氏（サイクルスポーツ ジャーナリスト）

令和6年度の実績：令和6年11月24日に自転車博物館のミュージアムスクエアにて西岡氏による「日本における電動アシスト車市場の動向」、明田氏による「電動アシスト自転車 技術進化の歴史と現状の課題」、山部氏による「電動アシスト自転車開発 —2000年代を中心に—」及び難波氏による「スポーツサイクル分野における e-bike の始まりから普及期まで」の中間発表会を行いました。当日の出席者は35名でした

令和7年5月31日に調査分析成果発表会を開催しました。

2. 自転車に関する普及啓発

- (1) より多くの市民に、自転車に乗ることで楽しさを実感し、自転車の有効性を理解・認知してもらうことによって自転車志向を高めていきます。

① マウンテンバイクツーリング	年間4回実施
② ロードバイクスクール（ロードバイクの初心者スクール）	年間4回実施
③ 自転車ライフ体験セミナー（スポーツバイク取り扱いセミナー）	年間4回実施
④ 自転車散歩：10km程度を楽しみながら走行	毎月1回実施
⑤ 健康サイクリング：20－30kmを健康のために走行	毎月1回実施

令和6年度の実績：年間イベントスケジュールに基づき実施しました。今年度はスポーツバイクスクールには48人、自転車散歩には45人、健康サイクリングには80人参加されました。

- (2) 堺市の「堺市環境共生まちづくり企画運営委員会」の副委員長にシマノ自転車博物館事務局長 岡田重勝氏が就任し、引き続き活動していきます。また、その下部組織の「堺自転車のまちづくり・市民の会」に参加して、自転車利用マナー向上活動並びに自転車のまちづくりに協力します。

令和6年度の実績：定期的に参加しました。

3. シマノ自転車博物館の運営

(1) クラシック自転車等の収集・収蔵・展示

常設展示として、

「自転車のはじまり」自転車の黎明期と発展期を彩る自転車を展示しています。

「自転車のひろがり」展開期を代表する多様な自転車をテーマごとに展示しています。

「自転車とこれから」サステナブルな社会に向けて豊かなくらしに貢献する自転車を展示しています。

令和6年度の実績：今年度の入館者は、26,054人でした。

(2) 特別展「古文書から紐解く江戸時代に考案された自転車」展を令和6年4月2日より令和7年3月23日まで行います。

令和6年度の実績：自転車の発明は、1817年ドイツとされていますが、日本でも1729年（享保4年）江戸時代中期に自転車の始祖ともなる乗り物が考案された記述の古文書が残されており、彦根市と本庄市から借用した江戸時代に作られた自転車のレプリカ2台と古文書、模型を展示し、日本でも素晴らしい発想力と技術で自転車が考案されていたことを紹介しました。

(3) 関西サイクル・スポーツセンター及び各地の自転車展示館等の展示に協力 関西サイクル・スポーツセンター内の啓発展示室に自転車（オーディナリー他）5台を継続して貸出します。

令和6年度の実績：現在、貸出中です。

(4) 当館の収蔵する自転車、部品、用品、資料の整理とデータ蓄積を引き続き行います。また、図録の電子化も行っています。

令和6年度の実績：現在、継続して実施しています。

(5) 各種講演会・講習会で自転車の有効活用等を発信します。

令和6年度の実績：メディアを通しての情報発信を中心に行いました。

(6) 第33回夏休みこども絵画コンクールの実施

絵を描くことによって自転車のしくみを理解すると同時に、自転車の社会的役割を思考する機会を提供するために、次世代を担う子ども達の応募継続に取り組みます。昨年の応募作品は、32,236点でした。

令和6年度の実績：今年度は、30,616点の応募がありました。10月5日に自転車博物館のミュージアムスクエアにて表彰式を行いました。

(7) 第17回こんな自転車欲しかったコンテストの実施

平成17年から3年間協力したキャリア教育プロジェクト「こんな自転車欲しかった

てん」を受継いで、博物館主催の自転車企画コンテストを平成20年に開始し、今年も引き続き実施します。昨年の応募作品数は、1,681点でした。

令和6年度の実績：今年度は、2,040点の応募がありました。12月7日に自転車博物館のミュージアムスクエアにて表彰式を行いました。

(8) 手作りおもちゃ教室

博物館を会場として開催することで、地域住民の方々に少しでも自転車への理解や関心を深めていただくことを目的に年間4回行います。

令和6年度の実績：年間イベントスケジュールに基づき、今年度は4回開催し、214人の方が参加されました。

(9) 文化庁の呼びかけで「関西文化の日」として文化力による関西復興の呼びかけがあり、11月に2日間無料開館を実施します。

令和6年度の実績：今年度は、11月16日・17日に無料開館を実施しました。2日間の入館者は682人でした。

4. 自転車ひろばの運営

(1) クラシック自転車レプリカ体験試乗

一般の方は毎月1・3・5土曜日、2・4日曜日と祝日に実施します。

令和6年度の実績：年間イベントスケジュールに基づき実施しました。今年度は7,829人の方が試乗されました。

(2) 自転車乗り方教室

毎月2・4土曜日と1・3・5日曜日に実施します。

令和6年度の実績：年間イベントスケジュールに基づき実施しました。今年度は977人の方が参加されました。

(3) 堺市内の支援学校を対象とした、自転車乗り方教室を実施

百舌鳥支援学校と上神谷支援学校の校庭で乗り方教室を実施します。

令和6年度の実績：年間イベントスケジュールに基づき実施しました。今年度は13回開催、253人の方が参加されました。

(4) こども自転車安全教室と大仙公園サイクリング

自転車に乗れる5歳から12歳までの子どもを対象として、堺警察署と合同で交通安全講習と実技を行い、最後に全員で大仙公園内をサイクリングします。

令和6年度の実績：年間イベントスケジュールに基づき実施しました。今年度は
9回開催、161人の方が参加されました。

- (5) 堺市内の小学校を対象とした、自転車安全教育活動の支援
堺市内の小学校に、学校での自転車交通安全教育に使用していただく為に、ひろばで
所有している自転車を貸出します

令和6年度の実績：今年度は、8校に合計117台の自転車を貸し出しました。

- (6) 自転車ひろばまつり
11月の文化の日に、無料でクラシック自転車レプリカ体験試乗を実施します。

令和6年度の実績：11月3日文化の日に実施し、52人の方が試乗されました。